



1月9日、当会議所議員新年祝賀会で表彰式が行われた

彩香さんが選んだイラストの題材は、お母様の影響が大きいそうです。料理上手なお母様はいつも家族の中心で、和やかな食卓には毎日手作りのおいしい料理が並びます。そんな家庭の温もりを、誌面を通して皆さんと共有したいと選んだのが、料理でした。

季節を感じる料理に  
めでたさを添えて

「母からは、彩香が描いた絵がいろんな人に届くね。それは、本当にすごいことだねって言ってもらえました」。

「母からは、彩香が描いた絵がいろんな人に届くね。それは、本当にすごいことだねって言ってもらえました」。

輝くあの人にインタビュー

# 人きらっとひかる

第15回 若手芸術家発掘コンテスト  
グランプリ

神彩香さん

岡学園トータルデザインアカデミー  
デザインビジネス科グラフィックデザインコース1年



## 四季を感じられる料理をモチーフに 家庭の温かさをイラストで表現

ところで、賞金の使い道はもう決まりましたかと尋ねたところ、半分は絵を完成させるためにサポートしてくれた両親に贈りたいとのこと。あとの半分は、まだ考え中だそうです。

1月、2月を経て、3月はちらし寿司を描こうと決めている彩香さん。春は山菜や花見弁当、夏はそうめんやかき氷、秋は栗ご飯など、信州には1年中おいしいものが

賞金の半分は、  
両親へプレゼント

1月の「おせち料理」は、子孫繁栄や家庭円満などさまざまな祈りが込められた祝い膳です。梅の花が描かれた重箱には、海老やいくら、伊達巻き、栗きんとん、田作りなどが色とりどりに並んでいます。どれもツヤツヤとおいしそうで、学校の先生からも「イラストから匂いや温度が感じられる」と高く評価されたそうです。画材は、マーカーと筆ペンの両用使いができるコピックで、別の色で重ね合わせたり、グラデーションをつけたりと、食材の持つ独特な色味を表現しました。

2月の題材は、節分に食べる恵方巻きです。温かい汁物のけんちん汁が添えられています。恵方巻きの具材は、サーモン、きゅうり、さくらでんぶ、ごぼうと、こちらもバラエティに富んだ贅沢な一品。海苔のツヤを出すのに苦労したそうですが、友達のアイデアを入れて白の色鉛筆を重ね塗りし、重厚感のある海苔巻きを完成させました。

今年1月の表紙を飾るイラストは、新春を寿ぐ「おせち料理」、そして2月は「恵方巻き」です。イラストを担当する神彩香さんは、まだ19歳。長野市内の専門学校でイラストやグラフィックを学ぶ学生さんです。12月まで1年間、12作品を描き続けることに強い責任を感じつつも、イラストを通して表現できる技法で家族団らんの温かさを伝えていきます。

第15回グランプリは  
イラストを学ぶ19歳の学生

当会議所では、若手芸術家の育成、支援を通じ、長野の文化向上に寄与すると同時に、彼らの表現により長野のブランドイメージを発信し、観光振興につなげていく取り組みとして「若手芸術家発掘コンテスト」を実施しています。今年度も絵画、イラスト、版画などの作家を発掘、支援するコンテストを開催しました。優勝者には賞金20万円の贈呈と、2024年の本誌表紙に1年間作品が掲載されます。本誌は毎月5800部を発行しており、たくさんの人に自分の作品をPRできるチャンスとして毎年多くの方のご応募をいただいています。そして今年度、第15回目のコンテストで見事グランプリを射止めたのは、岡学園トータルデザインアカデミーでイラストやグラフィックデザインを学ぶ神彩香さんです。

「私のイラストが表紙に選ばれたら嬉しいなとは思っていましたが、まさか本当に選ばれるとは…」と、驚きを隠せない様子の



1月号と2月号の原画。画材は、プロにも愛用されているコピックを使用

あふれています。イラストを通して笑いあい、語りあう家庭の温かさを感じながら、目でも四季を味わいたいものですね。

PROFILE

長野市出身。中学卒業後、イラストの専門的な知識や技術を身につけたいと、親元を離れて松本国際高等学校の普通科「マンガ・イラスト専攻」に進学。さらにグラフィックデザインの技術力を高めるために岡学園トータルデザインアカデミーに入学。将来の夢は、得意な絵を生かしたグラフィックデザイナー。

DATA

岡学園トータルデザインアカデミー  
【創 業】1946(昭和21)年  
【業務内容】「ファッション」「グラフィック」「地域プロデュース」と、デザインを軸に少人数制のアトリエ教育を実践。デザインに関する幅広い分野のスペシャリストを養成している。また、全国初のSDGs推進企業に登録された専門学校でもある。  
【所在地】長野市岡田町96-5 TEL 026-226-5719  
【URL】https://okagakuen.com